

大滝ダム貯水池斜面对策検討委員会（報告会）

議 事 要 旨

日 時：平成23年9月29日（木）13：00～14：30

場 所：メルパルク京都5F 会議室B

議 事：

第4回委員会までに審議した迫地区地すべり対策工事が完了し、大滝地区も完了の目処がついたので、これらの現状について委員に報告を行った。

委 員：京都大学防災研究所 教授	千木良 雅弘
京都大学大学院 助教授	角 哲也
(社)日本地すべり学会 理事	吉松 弘行
(独)土木研究所 地質監	平野 勇
国土交通省国土技術政策総合研究所	
水資源研究室長	安田 成夫
(独)土木研究所 上席研究員(地質)	佐々木 靖人(欠席)
(独)土木研究所 上席研究員(地すべり)	藤澤 和範

順位不同

役職については本委員会設置時(H18.11)のものである

委員からの意見及び助言について

- ・ 迫及び大滝地区の工事進捗を確認した。
- ・ 大滝・迫地区以外の地区についても適宜、モニタリング計測を行い、万全を期す。
- ・ 管理基準値を超えた際の対応と手順について、あらかじめ整理し、今後予定している試験湛水が円滑に進むように備えておく。
- ・ 今後予定している試験湛水においては、前回試験湛水時の斜面観測データを有効に活用する。